

学びに向かう力を育む図書館活用教育

島根県 松江市立大庭小学校

基本データ

| | |
|--------|----------------|
| 所在地 | 松江市大庭町 1074 番地 |
| 児童生徒数 | 502 人 |
| 教職員数 | 45 人 |
| 蔵書数 | 9,241 冊 |
| 年間貸出冊数 | 35,109 冊 |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 学校図書館の利活用により各教科において主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ること。
- 司書教諭や学校司書が教員の授業づくりや教材準備に関する支援、資料相談への対応など教育活動への支援を行うこと。
- 司書教諭以外の教員も対象とした学校図書館にかかる研修会の開催を行うことで、学校・学年で足並みをそろえて指導できるようにすること。
- 司書教諭以外の教員が学校図書館を利用できる、利用したくなるようにすること。

取組・活動の概要

- 本校では、確かな学力と豊かな心を持ちたくましく生きる子どもの育成を目指し、「情報活用能力の育成」と「読書力の育成」に力を入れている。
- 本校の児童の実態として、学習意欲の低さや、物事の原理や概念といった枠組みの理解、学び方のスキルの定着の弱さがみられる。
- 発達段階を踏まえ、「課題設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を有する学習を取り入れながら、スパイラルに情報活用教育を進めたいと考えた。

取組・活動の工夫や特徴

【各教科の中で身に付ける情報活用スキル】

- 教科単元ごとに指導すべき情報活用スキルの項目や、身に付けたい力を明確に示した年間指導計画を全職員に周知。
- 担任と兼務の司書教諭がチームティーチングによる授業に入れない場合も多いため、司書教諭は自分のクラスで実施した先行授業を他のクラスに広げる。
- 蓄積してきた授業案やワークシート類のデー

タの提供、授業プランの相談を通じて、担任が教科の指導内容に連動させて、児童の「学び方」の習得を促進できるようにしている。

【指導計画の実効性を高めるための工夫】

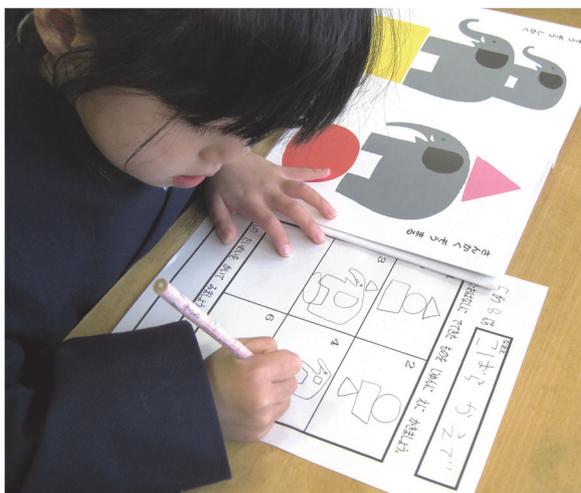
- 年度当初に図書館を優先的に活用できる「図書館の時間割」を決め、チームティーチングによる授業や資料を活用した調べ学習計画を立てやすくしている。
- 3名の司書教諭が、低学年・中学年・高学年それぞれの授業サポートをチームティーチングで行ったり、担任へ情報活用の指導の提案やアドバイスをしたりしている。
- 各クラスの図書館利用の有無、司書教諭とのチームティーチングの有無、授業内容、資料利用の予定などをまとめた時間割表を、学校司書が職員室に張り出している。
- 担任と図書館担当者が毎週連絡を取り合い、授業打ち合わせが有効に行えるようになった結果、指導計画に沿った授業実践が増えている。

【言語活動の基盤となる力の育成】

- 入学直後から異学年との読み聞かせ交流などを行ったり、段階的に、全校で1年間継続して取り組む「読書ビンゴ」など全校で取り組む活動を取り入れたりしている。
- 多様な読書活動を展開しながら、学びの基礎と

なる読書習慣の定着、読書意欲の向上等、読書力の向上を図っている。

- 1年生は読書能力の差が大きい時期であり、一斉の読書指導が難しい面があるため、司書教諭が本をていねいにじっくり読んだ後に、出てきたものを順に絵や文字で表す「ヨミール」という活動に取り組むなど工夫している。



ヨミール

- 1年生初期に合った本は学校司書が選定し朝読書の時間に毎日本を変えながら取り組んでいる。絵本の読み方、ワークシートへの記入の仕方などをていねいに教え、楽しむことを大事にしながら、同時に読むことや書くことへの抵抗を減らし、読書活動への意欲を高める指導として効果が上がっている。
- 本を読む集中力や、文字や絵を読み取る力、また、楽しんで読み、感想を持つ力など、学びに向かう様々な力が養われていくことを目指している。
- 特別支援学級の児童についても学校司書が対応しながら関心を引き出しサポートしている。

【校内研修の実施】

- 校内研修では、司書教諭が視察を通じて学んだ先進的な取り組み事例の報告、本校児童の読書に関わる現状課題の周知などを行ったりしている。
- 全校で系統的な指導ができるよう担任や教科指導者との共通認識を図る働きかけを行っている。
- 各学期の終わりに情報リテラシー育成を意識した授業の実施状況を各学年部に確認させ、不足があれば次の学期の授業の中で指導するよ

うに働きかけを行い、体系的・継続的・組織的にスキルの積み上げを図っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- こうした方法を通じて、図書館を利用したいと希望するクラスが増え、全体の活用時数は大幅に増加している。
- 担任と連携し、多くの児童が自発的に図書館に足を運び、活動を継続させており、読書習慣も定着しつつある。